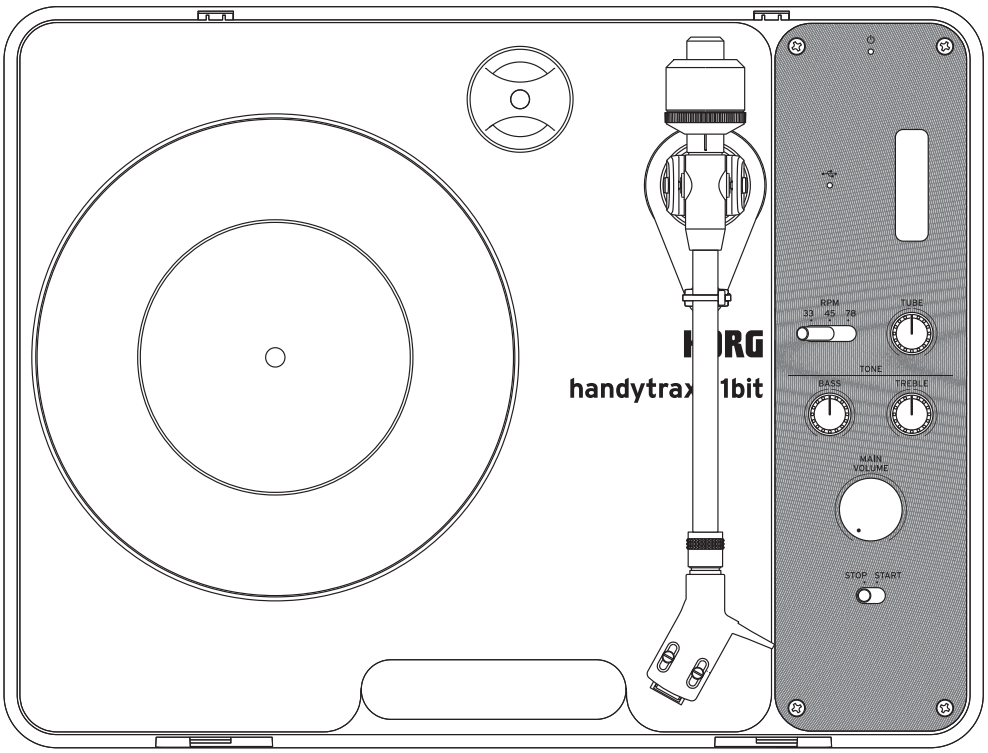
handytraxx 1bit

PORTABLE RECORD PLAYER

取扱説明書



KORG

目次

はじめに 3
本書の表記について 4
主な特長 5

各部の名称 7
トップ・パネル 7
サイド・パネル 8

準備 9
組み立て 9
ダスト・カバーの使い方 11
設置 12
針圧調節 12
AC アダプターの組み立て 13
接続 14
電池の入れ方 15

操作 16
レコードを再生する 17
音色を調節する 18
TONE の調節 18
TUBE 効果の調節 18

コンピューターで録音する 19
ドライバーのダウンロードとインストール 20
Windows の場合 20
Mac の場合 22
レコード再生音を録音する 23
DSD 録音を行う（AudioGate を使った録音） 23

付録 25
カートリッジ、針の交換 26
カートリッジの針先のお手入れ 26
カートリッジ、針の交換について 26
故障かな？と思ったら 27

仕様 29

はじめに

このたびは、コルグPORTABLE RECORD PLAYER **handytraxx 1bit**をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品の機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

→本書の表記について

→主な特長

本書の表記について

- 製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。
- 本書で使用しているイラストの形状や表示が、実際の製品と一部異なる場合があります。
- 本書で使用されている記号

⚠ 性能や機能を正しく活用できなくなる可能性のある事項について、注意すべき内容の説明が記載されています。

Note 注意すべき内容の説明が記載されています。

Tip 知っておくと役に立つ補足情報が記載されています。

* すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

主な特長

置き場所を限定せず、気軽にレコード演奏を楽しめる

- 小型軽量です。トップカバーを被せてハンドルで持ち出しが可能です。
- ACアダプターの他、単3電池6本で動作可能です。
- フォノイコライザーとステレオ・スピーカーを内蔵しました。

本格的なレコードプレイヤー

- カートリッジの交換を可能とするスタティックバランス方式のユニバーサル・ストレートアームを採用しました。
- ターンテーブルの回転を安定させる、重厚なアルミダイキャスト製プラッターを採用しました。
- ターンテーブルの回転を常に監視し、正確な回転数を保つようモーターをマイコン制御するデジタル回転補正機能を搭載しました。

JICOのカートリッジを採用

- ターンテーブルの心臓部となるカートリッジに、音楽専門家からも定評のある JICO（日本精機宝石工業株式会社）のカートリッジを採用しました。本格的なMMカートリッジの音をご堪能ください。

Nutubeを使用したフォノイコライザー

- フォノイコライザーのプリアンプ部に Nutube を搭載。真空管の効果でレコードの再生音に豊かな倍音が加わり、艶やかな音に。
- 真空管の倍音効果をツマミを回すことで 好みの音色に調節できます。

1bit 5.6MHz対応のUSBオーディオインターフェイスを内蔵

- KORG AudioGate 4（https://www.korg.com/products/audio/audiogate4/）により、アナログレコードの音声 をPCM:最大192kHz（24bit）、1bit:最大5.6MHzの高音質データファイルとしてコンピューターに保存することが可能です。
- コンピューターに保存した音声はオリジナルのフォーマットのまま本体で再生することができ、AudioGate 4のオーディオ・フォーマット変換機能を使用してWAVやAACなどに変換すれば、デジタル・オーディオ・プレーヤーやスマートフォンに入れて移動中にもレコードの音声を聴けるようになります。
- SP レコードや古い LP レコードは RIAA を介さず、AudioGate 4 に内蔵されたデジタルフォノイコライザーを適用することで、本来の音質で再生することができます。

Nutube（ニューチューブ）とは？

Nutubeは、株式会社コルグとノリタケ伊勢電子株式会社が、蛍光表示管の技術を応用して開発した新しい真空管です。

Nutubeは従来の真空管と同じく、アノード・グリッド・フィラメントの構造を持ち、完全な3極真空管として動作します。また従来の真空管と同様、真空管特有の豊かな倍音やレスポンスを生み出します。

⚠ 本製品に強い衝撃を加えたとき、高音域のノイズが出力される場合があります。これはNutubeの構造によるもので、故障ではありません。

JICO（日本精機宝石工業株式会社）について

日本が誇る卓越した技術力で、高品質なレコード針やカートリッジなどのアナログ関連製品を提供するメーカーです。

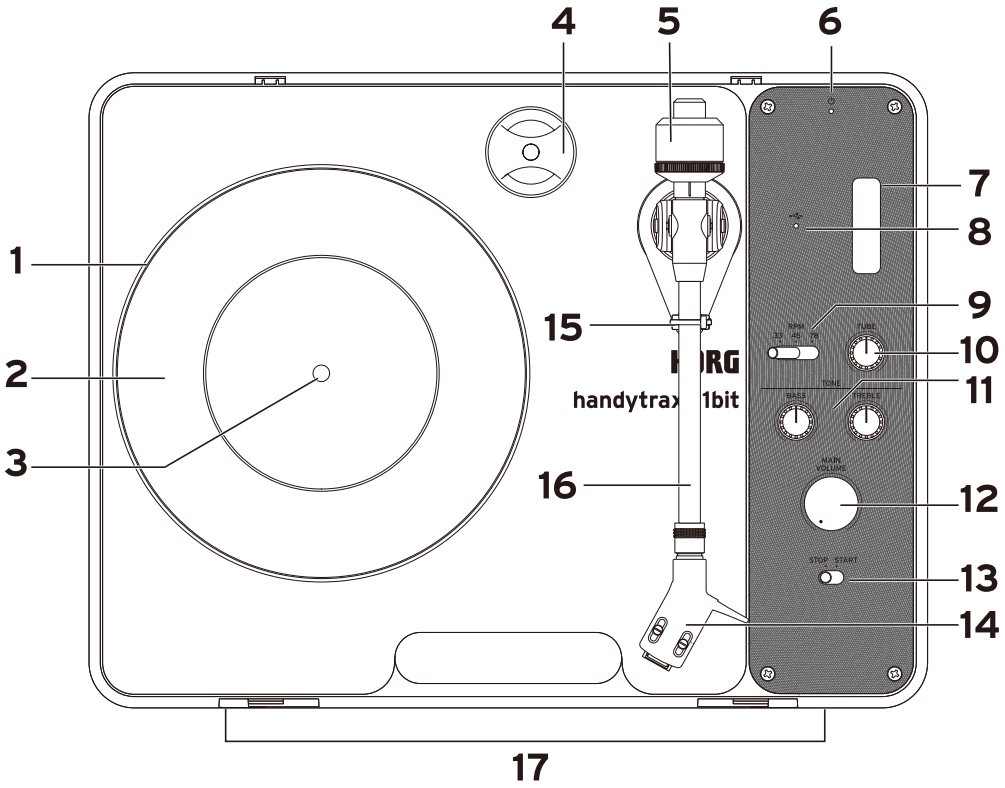
細部までこだわり抜いた製品は、アナログ音源の魅力を最大限に引き出し、50年以上に亘って世界120か国のレコード愛好家から評価を得ています。精緻で精密な製造工程と品質管理を徹底し、時代を超越し継承される“クラフトマンシップ”を体現しています。

付属カートリッジについて

handytraxx 1bitに搭載しているカートリッジはJICO J44A 7 IMP SDです。詳細はカートリッジに付属する取扱説明書を参照してください。

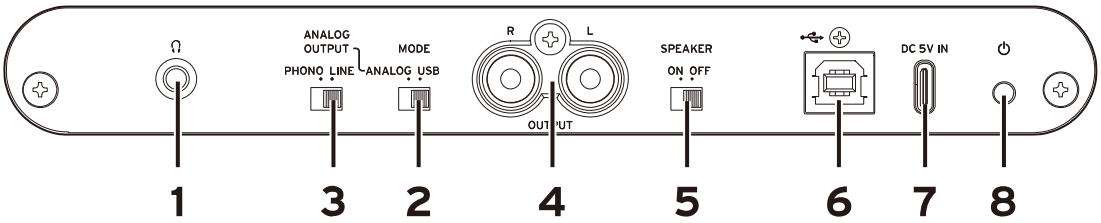
各部の名称

トップ・パネル



1 プラッター
2 レコード・マット
3 スピンドル
4 EPアダプター
5 カウンターウェイト
6 電源インジケーター
7 Nutube
8 USBインジケーター
9 RPMスイッチ
10 TUBEノブ
11 TONEノブ
12 MAIN VOLUMEノブ
13 STOP/STARTスイッチ
14 ヘッドシェル
15 トーンアーム・ロック
16 トーンアーム
17 スピーカー

サイド・パネル



1 ヘッドホン端子
(3.5mm ステレオ・ミニフォーン・ジャック、不平衡)
ヘッドホンを接続します。

2 MODEスイッチ
音声の出力ソースを選びます。OUTPUT端子、スピーカー、またはヘッドホンから本機の音声を出力する場合はANALOGに設定します。USB端子に接続したコンピューターの音源を出力する場合は、USBに設定します。

3 ANALOG OUTPUTスイッチ
MODEスイッチをANALOGに設定したときに、OUTPUT端子の接続先に合わせて、このスイッチを適切に設定してください。
オーディオ機器のライン入力端子に接続する場合は、このスイッチをLINEに設定します。
オーディオアンプのフォノ入力端子に接続する場合は、このスイッチをPHONOに設定します。

4 OUTPUT端子
(RCAピン・ジャック)
パワード・モニター・スピーカー、ステレオ・アンプなどを接続します。

5 SPEAKERスイッチ
内蔵スピーカーを使用する場合はONに、スピーカーを使わない場合はOFFに設定します。

6 USB端子
(USB Type-B)
コンピューターでレコードを録音するときに、市販のUSBケーブルを使用してコンピューターと本機を接続します。

7 DC 5V IN 電源端子
(USB Type-C)
付属のACアダプターを接続します。

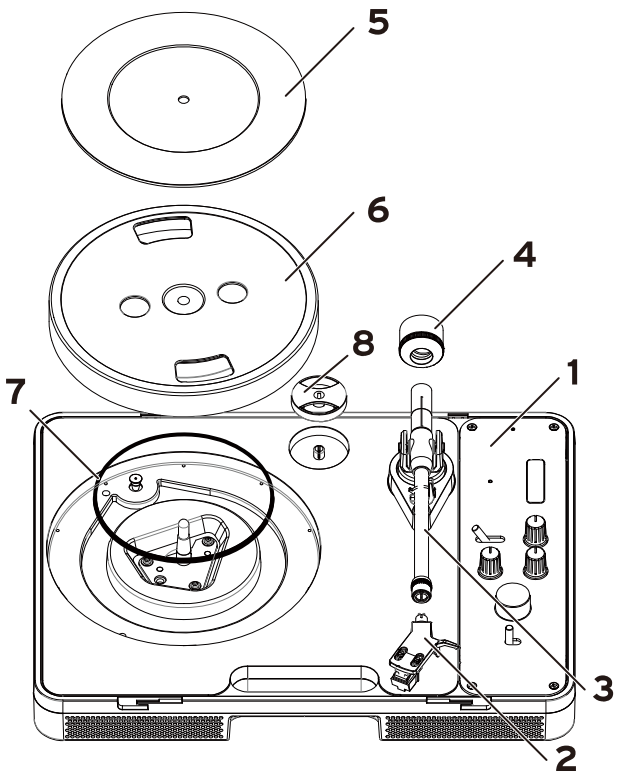
8 電源ボタン
ボタンを長押しして、電源をオンまたはオフにします。

準備

組み立て

本機を初めて使用する前にいくつかの組み立てが必要です。

組み立てに必要なパーツは下記のとおりです。

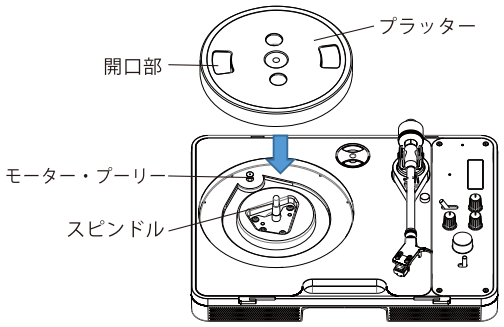


1 本体
2 ヘッドシェル(カートリッジ取り付け済)
3 トーンアーム
4 カウンターウェイト
5 レコード・マット
6 プラッター
7 ベルト
8 EPアダプター

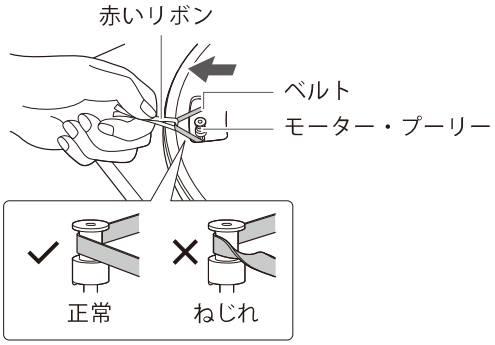
⚠ 組み立てが完了するまではACアダプターを接続しないでください。

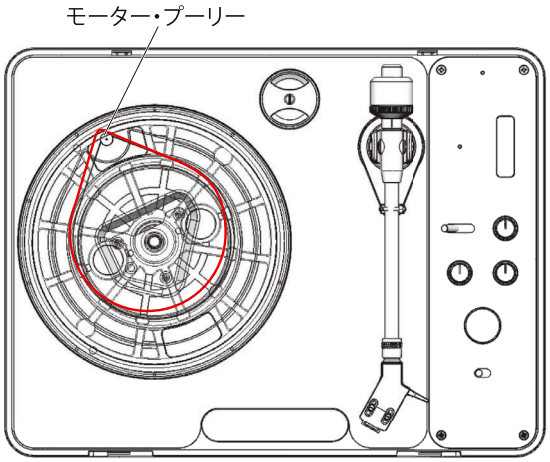
組み立て手順

1 プラッターを本体のスピンドルに取り付けます。

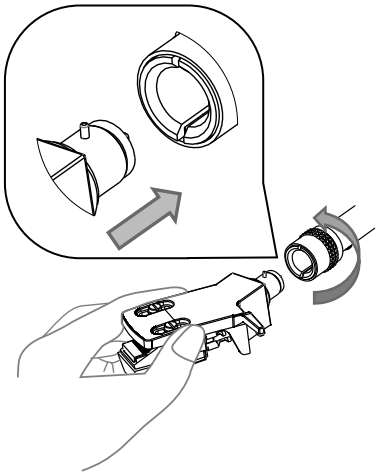


2 ベルトをモーター・プーリーに掛けます。
プラッターの開口部をモーター・プーリーに合わせ、付属の赤いリボンでベルトを引き上げながら、ベルトをモーター・プーリーに掛けます(図を参照)。
ベルトはねじれないようにモーター・プーリーに掛けてください。赤いリボンは取り外してください。

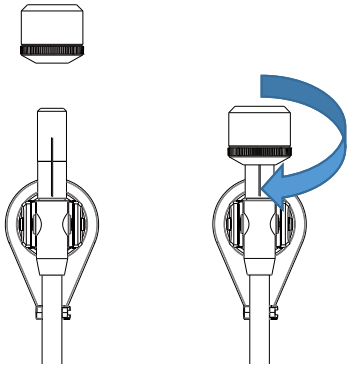




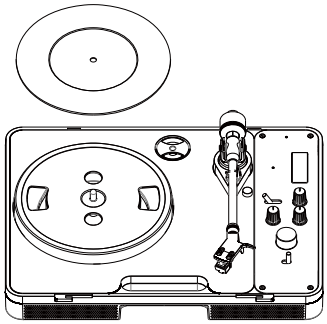
3 カートリッジが取り付けられていることを確認し、ヘッドシェルをトーンアームの先端に取り付けます。



4 カウンターウェイトをトーンアームに取り付けます。

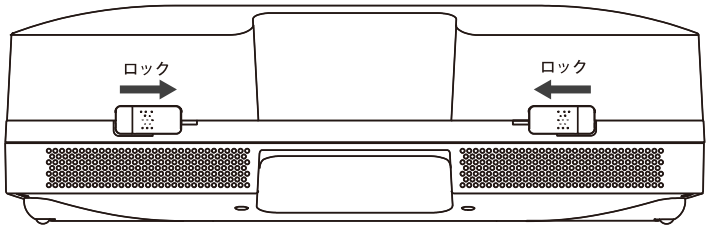


5 プラッターにレコード・マットを置きます。

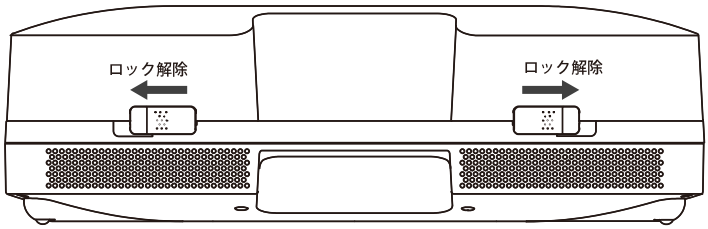


ダスト・カバーの使い方

ダスト・カバーの後ろ側のツメをトップ・パネルの後ろ側の溝にかけて手前に倒し、ダスト・カバーの手前のバックルをスライドさせてロックします。



外すときはバックルをスライドさせてロックを解除し、ダスト・カバーを後ろに倒すように開き、カバーのツメを溝から外してください。



設置

- 本機を平らな場所に置いてください。
- 振動や音圧の影響を避けるため、スピーカーなどの隣に設置しないでください。
- 本機をラジオの隣に置くと、無線の静電気を拾う可能性があります。
- 本機を無線機などの近くに置くと電波の干渉を受けることがあります。強い電波を発する機器（携帯電話など）の近くに置くとノイズが発生する場合があります。

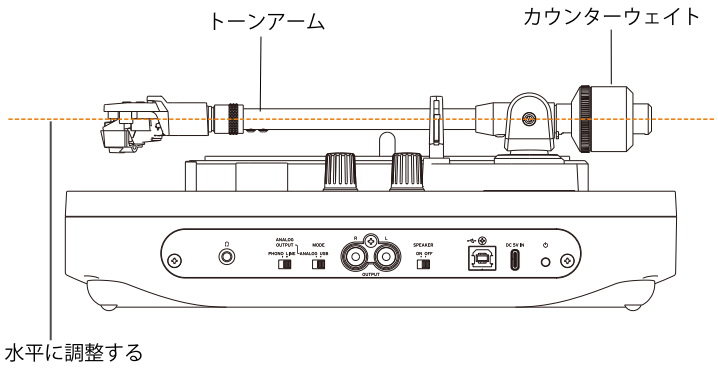
本機の移動について

本機の設置場所を変更したり、持ち運ぶときには以下の点に注意してください。

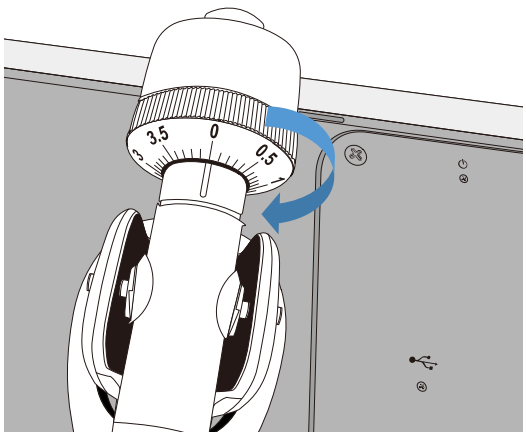
- 部屋の中などで設置場所を移動するときは、スピンドルにプラッター押さえ（黒いゴム製のキャップ）を取り付けて、なるべく水平に持って運んでください。
- 運搬するときは、プラッター、カウンターウエイト、ヘッドシェル（カートリッジ付き）を外して、それぞれ個別に梱包して運んでください。

針圧調節

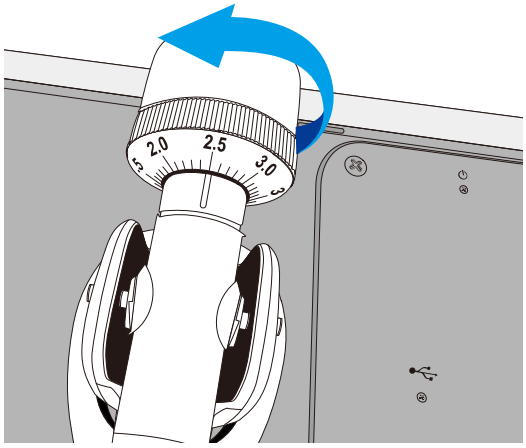
1 カウンターウェイトを回して、トーンアームが水平になるように調整します。



2 カウンターウェイトの目盛リングを空回しさせて、0に合わせます。



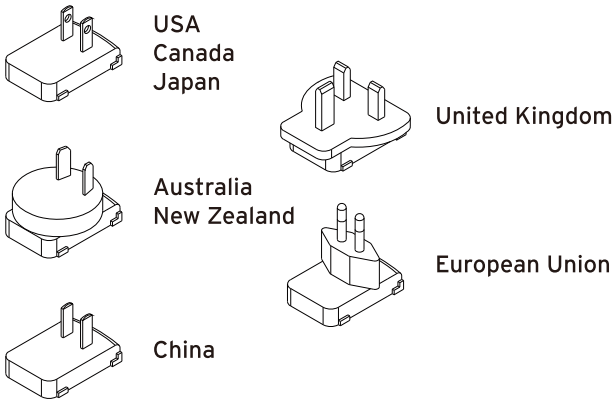
3 カウンターウェイトを左に回して、カートリッジに適した針圧に合わせます。
付属のカートリッジの場合、針圧は1.5～3.0 gに設定してください



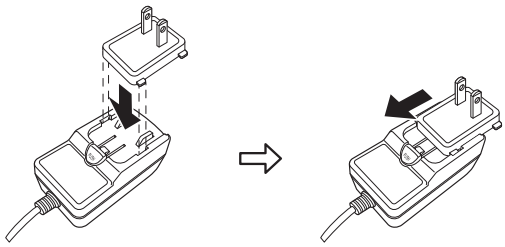
ACアダプターの組み立て

ACアダプターのプラグを取り付ける

お使いになるコンセントのタイプに合わせてACアダプターの交換プラグを取り付けてください。



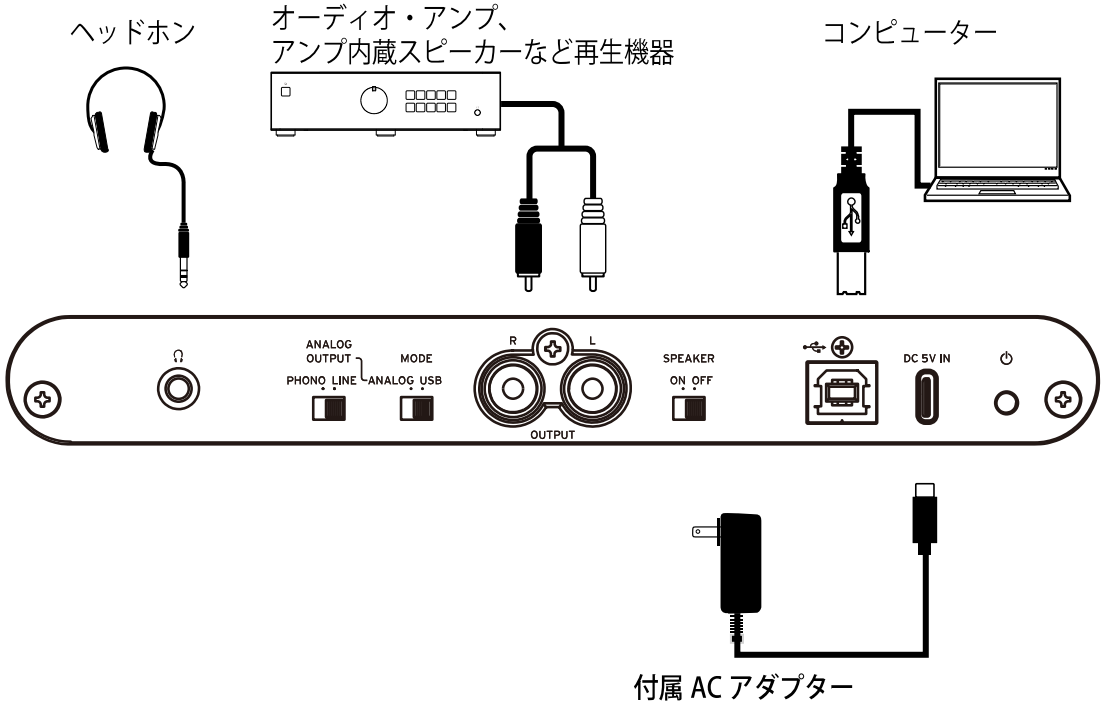
1 ACアダプターの接点部の溝に合わせて、交換プラグを差し込みます。
2 交換プラグをカチッと音がするまでスライドして固定します。



ACアダプターの交換プラグを取り外す

1 ACアダプターのロックボタンを押しながら、交換プラグをスライドします。
2 スライドできないところまできたら、交換プラグが取り外せます。

接続



ACアダプターを接続する

DC 5V IN 端子（USB TYPE-C）に付属のACアダプターを接続し、ACアダプターのプラグをコンセントに接続します。

⚠ 必ず付属のACアダプターを使用してください。他のACアダプターを使用した場合、故障などの原因となる恐れがあります。

⚠ 電源は必ずAC100Vを使用してください。

音声ケーブルを接続する

ヘッドホンを接続するときはヘッドホン端子に接続します。ヘッドホン端子からの音声出力はスピーカーからの音声出力と同じです（MAIN VOLUME、フォノイコライザーとトーン回路を通る出力）。

オーディオ・アンプやアンプ内蔵スピーカーなどを接続するときは、OUTPUT端子に接続します。

本機のOUTPUT端子とオーディオ機器のライン入力端子を接続するときはANALOG OUTPUTスイッチをLINEに設定します。（MAIN VOLUME、フォノイコライザーとトーン回路を通る出力）

オーディオ・アンプなどのフォノ入力端子に接続するときは、ANALOG OUTPUTスイッチをPHONOに設定します。

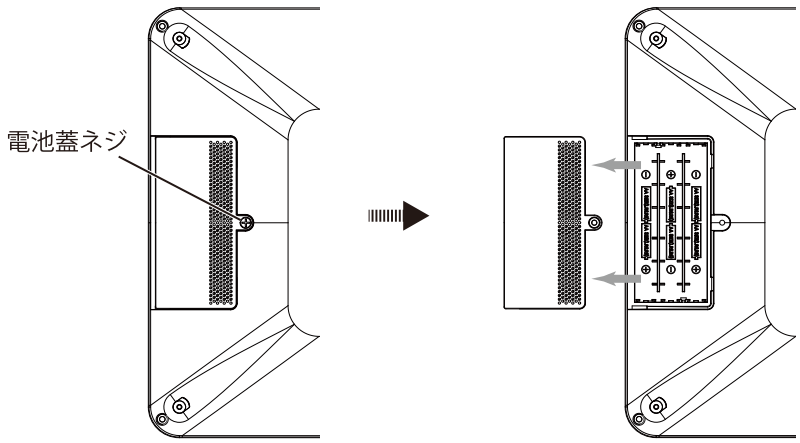
コンピューターを接続する

コンピューターで録音をするときには、市販のUSBケーブルを使用してコンピューターと本機を接続します。オーディオ録音アプリケーションを使ってレコードの音声をデータ化することができます。内蔵の1bit 5.6MHz対応のUSBオーディオ・インターフェイスを使用するときは、MODEスイッチをUSBに設定します。

電池の入れ方

底面の電池ケースのネジを外し、蓋を開けてから電池の極性に注意して電池を入れてください。

電池で動作させているときに、電源インジケーターが点滅したときは、残量が少なくなっているので交換してください。



※電池は付属していません。別途お買い求めください。

⚠ 電池の交換は電源を切った状態で行ってください。

⚠ 使えなくなった電池は、すぐに本機から取り出してください。電池を入れたままにすると、故障の原因（電池の液漏れなど）となります。また、長期間ご使用にならない場合も、電池を外しておいてください。

⚠ 新しい電池と1度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。

⚠ 電池を入れていてもACアダプターが接続されているときはACアダプターで動作します。

操作

→レコードを再生する
→音色を調節する

レコードを再生する

1 電源を入れます。
電源ボタンを押すと、電源インジケーターが点灯し電源が入ります。
電源を切るときは、電源ボタンを長押ししてください。

2 レコード盤をターンテーブルに置きます。
レコード盤の中心の穴にスピンドルを挿入してください。
EP盤（シングル盤、ドーナッツ盤）を使用するときは、付属のEPアダプターをスピンドルに取り付けてから、レコード盤をターンテーブルに置いてください。

3 再生するレコードに合わせてRPMスイッチで回転数を設定します。

4 スピーカーのオン、オフを設定します。
内蔵スピーカーから音声を出力する場合は、サイドパネルのSPEAKERスイッチをONにしてください。
内蔵スピーカーから音声を出力しない場合は、スイッチをOFFにして、ヘッドホン端子やOUTPUT端子から再生してください。

5 トーンアーム・ロックを外します。
トーンアームを留めているトーンアーム・ロックを解除します。

6 STOP/STARTスイッチをSTART側にし、ターンテーブルを回転させます。

7 ヘッドシェルのフィンガー・リフト（指かけ）を持ってレコードに針を置きます。
レコードが再生されます。

8 MAIN VOLUMEノブで音量を調節します。
右に回すと音量が上がります。MAIN VOLUMEノブは、スピーカー、ヘッドホン端子、OUTPUT端子のすべての出力に有効です。

Note: OUTPUT 端子に接続した機器から再生音を出力する場合は、接続先に合わせて OUTPUT スイッチを適切に設定してください。

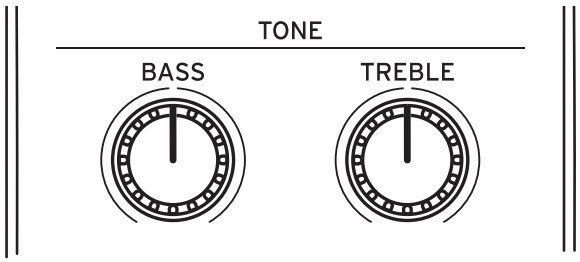
オートパワーオフ機能

本機はターンテーブルが停止している状態で、20分間スイッチを操作しないと自動的に電源が切れます。

音色を調節する

TONEの調節

BASSノブとTREBLEノブで好みの音色に調節します。

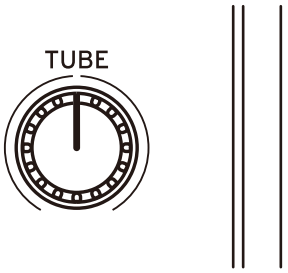


BASSノブ：右に回すと低音が増強され、左に回すと減少します。

TREBLEノブ：右に回すと高音が増強され、左に回すと減少します。

TUBE効果の調節

真空管（Nutube）によって倍音が付加される効果をTUBEノブで調節します。



TUBEノブ：真空管（Nutube）の音色の効果を調節します。右に回すと効果が増大し、左に回すと減少します。

コンピューターで録音する

コンピューターでレコードを録音するときには、市販のUSBケーブルを使用してコンピューターと本機を接続します。

KORG AudioGate 4により、アナログレコードの音声 をPCM:最大192kHz（24bit）、1bit:最大5.6MHzの高音質データファイルとしてコンピューターに保存することが可能です。

本機を接続する前に

Windows（ASIO）で本機を使用するには、ドライバーの設定が必要です。設定を円滑に行うため、ドライバーのインストール前に本機とコンピューターの接続を行わないでください。

「ドライバーのダウンロードとインストール」をよくお読みになり、Setupプログラムをダウンロードして各インストールを行ってから、本機をコンピューターと接続してください。

Note: 本機に内蔵された 1bit 5.6MHz 対応の USB オーディオ・インターフェイスは、コンピューターからは "DS-DAC-10R" として認識されます。
これ以降のドライバーのインストールなどの説明では、本機を接続した場合でも DS-DAC-10R を接続するための説明と同じになっています。

→ドライバーのダウンロードとインストール

→レコード再生音を録音する

ドライバーのダウンロードとインストール

Windowsの場合

ASIOドライバー /AudioGateのインストール準備

ASIOドライバーとAudioGateをインストールするには、KORG AudioGate and USB AudioDevice Setupプログラムで行います。

Note: ドライバーのインストールを完了する前に、本機をコンピューターに接続しないでください。すでに接続してしまった場合は、いったん接続を取り外してドライバーのインストールを完了してから接続し直してください。

1. 下記のAudioGate 4のダウンロード・ページにアクセスします。
   http://www.korg.com/products/audio/audiogate4/download.php
2. 「AudioGate and USB Audio Device Setup」のWindows用のダウンロード・ボタンを押して、Setupファイルをダウンロードしてください。
3. ダウンロードしたZIPファイルを展開して、" KORG AudioGate and USB Audio Device Setup"フォルダー内のSetupを実行し、KORG AudioGate and USB Audio Device Setupパネルを表示します。
4. "DS-DAC-10R Driverのインストール"をクリックしてASIOドライバーをインストールしてください。→ASIOドライバーのインストール
5. 続けてAudioGateをインストールするときは、KORG AudioGate and USB AudioDevice Setupパネルの"AudioGateのインストール"をクリックしてください。
   インストール中に表示される"AudioGateのアクティベーションについて"をよくお読みいただき、インストールを完了させます。
6. "終了"をクリックし、Setupプログラムを終了してください。
   AudioGate以外で録音する場合にはインプット・レベルを設定するDS-DAC-10R Setting Toolが必要です。"DS-DAC-10R設定ツールのインストール"をクリックしてインストールしてください。

ASIOドライバーのインストール

Note: ドライバーのインストール完了前に本機をコンピューターに接続しないでください。すでに接続してしまっている場合は一旦取り外してドライバーのインストール完了後に接続し直してください。

Note: Windows のバージョンや環境によってコンピューターに表示されるインストール画面は多少異なりますが、手順は同じです。ここでは Windows 11 の標準的な画面で説明を行います。

インストールの途中で、インストールするかしないかを尋ねるダイアログが表示された場合には【インストール】をクリックしてください。

1. ダウンロードしたKORG AudioGate and USB Audio Device Setupパネルの"DS-DAC-10R Driverのインストール"をクリックして、インストーラーを起動します。

2 言語の選択ダイアログが現れるので、「日本語」を選び、【次へ(N) >】をクリックします。

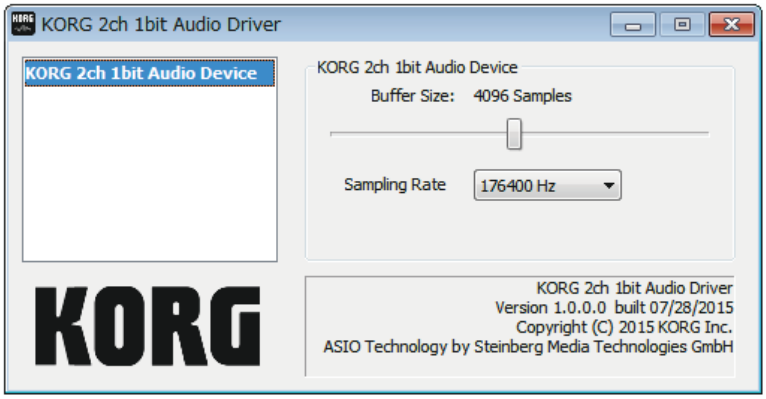
3 下のようなダイアログが現れるので、【次へ(N) >】をクリックします。

4 使用許諾契約の条項に同意したら、【インストール】をクリックして、インストールを開始してください。

5 下のようなダイアログが表示されるので、インストールの準備が完了しました。【完了(F)】をクリックしてインストーラーを終了させます。

KORG 2ch 1bit Audio Driver-コントロールパネルの設定

Windowsスタートメニューのコントロールパネルですべてのコントロールパネル項目を表示させ、"KORG 2ch 1bit Audio Driver"をクリックすると下図のコントロールパネルが表示されます。



Buffer Size

バッファ・サイズを選択します。スライダーを左に移動するほどサイズが小さくなり、右に移動するほどサイズが大きくなります。

バッファ・サイズを大きくすると直接音とモニター音とのずれ（レイテンシ）が大きくなりますが、ノイズが入ることなく安全に録音できます。

レコード録音の場合、通常は最大に設定してください。

Sampling Rate

WDM(WASAPI/Direct Sound)で使用する際にはサンプリング周波数をここで設定します。44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHzから選択します。

Macの場合

AudioGateのインストールをKORG AudioGate and USB Audio Device Setupプログラムで行います。

Note: Mac で本機を使用する場合はドライバーのインストールは不要です。

AudioGateのインストール

1. 下記のAudioGate 4のダウンロード・ページにアクセスします。
   http://www.korg.com/products/audio/audiogate4/download.php
2. 「AudioGate and USB Audio Device Setup」のMac用のダウンロード・ボタンを押して、Setupファイルをダウンロードしてください。
3. dmgファイルを展開して、"KORG AudioGate and USB Audio Device Setup"フォルダー内のSetupを実行し、KORG AudioGate and USB Audio Device Setupパネルを表示します。
4. "AudioGateのインストール"をクリックしてください。
   インストール中に表示される"AudioGateのアクティベーションについて"をよくお読みいただき、インストールを完了させます。
5. "終了"をクリックし、Setupプログラムを終了してください。

Note: AudioGate以外で録音する場合にはインプット・レベルを設定するDS-DAC-10R Setting Toolが必要です。"DS-DAC-10R 設定ツールのインストール " をクリックしてインストールしてください。

Note: サンプリング周波数の変更は AudioGate または Mac の Audio MIDI 設定から変更してください。

レコード再生音を録音する

コンピューターにインストールしたAudioGateを使って、レコードの再生音を録音してみましょう。

DSD録音を行う（AudioGateを使った録音）

1 コンピューターと本機をUSBケーブルで接続します。

2 本機のMODEスイッチをUSBに切り替えます。

3 AudioGateを立ち上げます。

4 DSDネイティブ再生ができる状態に設定します。
「入力デバイス名」に「KORG 2ch 1bit Audio Device」を選択します。なお、録音されるファイルはステレオで、サンプリング周波数はAudioGate上部に表示されている値になります。

5 Rec Settingボタンをクリックして、録音設定を表示します。

6 「入力の種類」をクリックして、「Line」または「Phono」を選択します。
「Line」を選択した場合は、本機のスピーカーで再生しているときと同じく、内蔵されたフォノ・アンプを使用した音声が録音されますので、内蔵フォノ・イコライザー(RIAA)が適用され、TUBEノブやTONEノブでの音色調節も有効です。
「Phono」を選択した場合は、内蔵のフォノ・アンプが適用されない音声が録音されますので、AudioGateでフォノ・イコライザーを適用する必要があります。

7 録音用フォノ・イコライザーの種類を設定します。
手順 6で「Line」を選択した場合は既にフォノ・イコライザーがかかっているので「Off」に設定してください。
手順 6で「Phono」を選択した場合には、録音時にフォノ・イコライザーを「On」に設定して録音する方法と、「Off」に設定して録音し再生時にフォノ・イコライザーをかける方法があります。
以下の場合は、再生時にフォノ・イコライザーをかける方法をお勧めします。

- アナログ・レコードのカッティング時に使用されたフォノ・イコライザーの種類がよくわからない場合（再生しながらフォノ・イコライザーを比べられる）
- 録音時にパソコンの処理の負荷を下げたい場合

Tip: 一般的な EP/LP レコードは RIAA カーブで録音されています。

Tip: SP レコードの場合、AudioGate の SP 用カーブが合わないと感じる場合は、内蔵の RIAA フォノ・イコライザーを使用して TONE で調整することで、適切な音質に調節してください。

8 「DSD録音ファイル形式」をクリックして「DSDIFF」、「DSF」または「WSD」を選択します。

9 OKボタンをクリックして録音設定を閉じます。

10 AudioGateのインプット・モニター設定ボタン(Input Monitor)をクリックします。

11 本機でレコードを再生し、AudioGateのレベル・メーターのクリップ・インジケーターが点灯しないように入力レベル・スライダーをドラッグして調節します。

Tip: レコードの音は音量の変化が大きいため、平均的な音量の再生音で -6dB くらいになるように調節するとよいでしょう。

Note: MAIN VOLUME ノブの設定は録音される音量には影響しません。

12 AudioGateの録音ボタン[●]をクリックすると録音が開始されます。

13 停止ボタン[■]をクリックすると録音が終了します。

Note: 詳しくは AudioGate 4 の取扱説明書をご覧ください。

付録

→カートリッジ、針の交換
→故障かな？と思ったら

カートリッジ、針の交換

カートリッジの針先のお手入れ

針先に付着したほこりや汚れは、市販のクリーニング・ブラシなどで取り除いてください。
ブラシでクリーニングするときは、針の根元から針先へ向かってブラシを動かしてください。

カートリッジ、針の交換について

- カートリッジの針先が磨耗すると音質が悪くなったり、レコードを傷めたりすることがあります。
- カートリッジ、針の交換については、お客様相談窓口にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

□AC アダプターがコンセントから外れていませんか。AC アダプターをコンセントに差し込んでください。

□電池駆動の場合、電池残量が少なくなっていませんか。電池が少なくなると電源インジケーターが点滅します。電池を交換してください。

プラッターが回転しない

□ベルトがプラッターから外れていませんか。ベルトをプラッターに正しく取り付けてください。

□ベルトがモータープーリーにかけられていますか。ベルトがモータープーリーに正しくかけられているか確認してください。

□ベルトが切れていませんか。ベルトを新品に交換してください。

音が出ない、または音量が小さい/音がひずむ、または大きい

□アンプなど接続機器の機能設定や入力の選択が間違っていませんか。接続機器の設定が適切か確認してください。

□MAIN VOLUMEノブが最小値になっていませんか。

□スピーカーから音が出ない場合、スピーカーのスイッチがOFFになっていませんか。

□針がカートリッジ本体に正しく取り付けられていますか。カートリッジを確認し、針の取り付けを調整してください。

□MODEスイッチの設定(ANALOG/USB)を確認してください。MODEスイッチをANALOGに設定した場合はANALOG OUTPUTスイッチの設定も確認してください。

□ANALOG OUTPUTスイッチの設定位置が間違っていませんか。アンプの入力に合った正しい設定がされていることを確認してください。
音が出ない場合や音量が小さい場合は、本製品が「PHONO」側に設定され、アンプのAUX/LINE入力に接続されている可能性があります。
音量が大きすぎる場合やひずんでいる場合は、本製品が「LINE」側に設定され、接続機器がPHONO入力に接続されている可能性があります。

□カートリッジの針先にほこりが付いていませんか。ほこりが付いている場合は、市販のクリーニング・ブラシなどで取り除いてください。

□カートリッジの針先が損傷していませんか。針先が損傷している場合は、針を交換してください。

針とびを起こす

□レコードが反っていませんか。レコードを確認してください。

□レコードに傷が付いていませんか。レコードを確認してください。

□本機が不安定な場所に設置されていませんか。設置場所が適切か確認してください。

□針圧は正しく調節されていますか。正しい針圧に設定してください。

□カートリッジの針先にほこりが付いていませんか。ほこりが付いている場合は、市販のクリーニング・ブラシなどで取り除いてください。

□カートリッジの針先が損傷していませんか。針先が損傷している場合は、針を交換してください。

ハウリングが生じる

□本製品が、床、壁面、または近くのスピーカーから過度に振動を拾っていませんか。振動を小さくするか、振動の影響を受けない場所に本製品を置いてください。

□本製品が不安定な場所に設置されていませんか。設置場所が適切か確認してください。

□BASSノブ、TREBLEノブ、MAIN VOLUMEノブがすべて最大になっていると本機が振動してハウリングを起こす場合があるので適切に調整してください。

□レコードによっては音量が大きくハウリングする場合があります。その場合はハウリングが収まるまで音量を下げてください。

レコードの再生音にノイズが 生じる

□カートリッジの針先にほこりが付いていませんか。ほこりが付いている場合は、市販のクリーニング・ブラシなどで取り除いてください。

□レコードに傷が付いていませんか。レコードを確認してください。

レコードの再生音が速すぎる、または遅すぎる

□本製品の回転数の設定が間違っていませんか。RPM スイッチで、再生するレコードの種類に合った正しい回転数を選択してください。

再生速度が遅くなる、または回転ムラがある

□ベルトが伸びていませんか。ベルトを新品に交換してください。

スピーカーから出る音が歪む

□スピーカーからの出力が大きすぎると歪むことがあります。
BASSノブ、TREBLEノブ、MAIN VOLUMEノブで音量を調節してください。

仕様

駆動方式

ベルトドライブ方式（デジタル回転補正機能搭載）

駆動モーター

DCサーボモーター

回転数

33-1/3、45、78回転/分

プラッター

アルミダイキャスト製

ワウフラッター

< 0.15% WTD at 3kHz

S/N比

> 60 dB DIN-B（TUBEノブ 最小時）

カートリッジ型式

MM型ステレオ・カートリッジ

針圧：1.5 ～3.0g

※そのほかのカートリッジの情報は以下のウェブ・サイトをご参照ください。

https://jico.online/2024/12/03/handytraxx/

トーンアーム有効長（トーンアームの中心から針先までの距離）

190 mm

出力レベル

PHONO：420~750 mV at 1KHz（TUBEノブ 最小時）

LINE：+14.75dBu (4.24Vrms) THD 1%以下

ヘッドホン：70mW (1.5Vrms) @32Ω THD 1%以下

スピーカー：2.5W @ 4Ω x2 THD 1%以下

PHONOプリアンプ

ゲイン：38dB

イコライザー特性：RIAA

トーン・コントロール

BASSノブ：130Hz、±8dB

TREBLEノブ：5.5kHz、±8dB

TUBEコントロール

ゲイン：0 ~ 6dB

USBオーディオ

DSD：2.8224MHz / 5.6448MHz、1bit

PCM：44.1kHz / 48kHz / 88.2kHz / 96kHz / 176.4kHz / 192kHz、16bit / 24bit

電源

ACアダプター、単3 形電池6本（アルカリ乾電池またはニッケル水素電池）

電池寿命

約11時間（スピーカー：ON、MAIN VOLUMEノブ：中央、アルカリ乾電池使用時）
※ 電池寿命は再生するレコードの音量やスピーカーの音量によって変わります。

消費電力

2.35 W（無負荷時消費電力：0.1 W、 230 V時）

外形寸法

370 x 286 x 118 mm（ダストカバー、突起部を含む）

質量

2.8kg（ダストカバーを含む、電池含まず）

付属品

クイック・スタート・ガイド、ACアダプター（USB Type-Cケーブル取り付け済み）、ACアダプター交換用プラグ（5種）、ダストカバー、プラッター、ベルト、レコード・マット、EPアダプター、ヘッドシェル、カートリッジ（ヘッドシェルに装着済み）カウンターウエイト、プラッター押さえ

※ 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

株式会社コルグ
本社：〒206-0812 東京都稲城市矢野口 4015-2
©2025 KORG INC.
www.korg.com
Published 07/2025